

# 東アジアにおける教師の 多様性をどう考えるか

東アジアにおいては外国にルーツのある子どもが増加し、これらに対応することが教師に求められる。児童・生徒の多様性が高まる中で、教職員の多様性を確保することは、公正と包摂を推進する上で重要である。本シンポジウムでは、この問題に取り組んできた中島智子氏による基調講演と3名からの話題提供を基に議論を深めたい

11.1 対面開催  
15:00 - 17:30 土

会場：専修大学 神田校舎  
10号館 9階 10092教室

当日9:30から10号館11階でアジア教育学会が開催されています。

## 基調講演

(公財)世界人権問題研究センター登録研究員／元プール学院大学教授

中島 智子 日本の公立学校外国籍教員問題を問う  
— 「国籍」「植民地責任」の視点から —

## 話題提供

広島大学

朴 聖希 東アジアにおける教師の多様性

神奈川県南足柄市立南足柄小学校

盧 映林 「任期の期限を付さない常勤講師」の現状と課題

駐日本韓国大使館首席教育官

梁 鎬錫 韓国における教師の任用条件と今後の課題

## お申込みはこちらから

本シンポジウムはアジア教育学会第20回大会のプログラムの一部として行われます。大会・シンポジウム参加費は1,000円です。

参加登録は下のURL又は右の二次元バーコードにアクセスしてください。

<https://forms.gle/Zkw4cv26tL3XUZ3Q6>



## お問い合わせ

アジア教育学会  
第20回大会実行委員会

MAIL [jssae2025sen@gmail.com](mailto:jssae2025sen@gmail.com)

WEB <http://jssae.jp>